

第34回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

C.都市の再興・まちづくり

【HP 掲載No.C04】

発表No.	C04
タイトル	複合的な都市再生事業における工事中交通マネジメントの重要性
所属・名前	独立行政法人都市再生機構 山根 健太郎
キーワード	① 調整 ② マネジメント体制「戦略」 ③ 交通対策「戦術」
<p>近年、交通結節点や大規模ターミナル駅周辺の再整備のニーズも高まる中、土地区画整理事業等の面的事業の中で、多数の個別プロジェクトが輻輳しながら同時進行する複合的な都市再生事業が多く見られる。</p> <p>当事業を進める上での課題としては、交通規制の時期や箇所が幾重にも重なりながらの工事進捗となるため、道路管理者や交通管理者、駅前広場等で影響を受ける交通事業者等との多数の「調整」を遅滞なく効率的に実施することが必要となるが、万一協議調整が難航すれば事業の遅延に繋がる恐れがあり、リスク管理が必要となる。</p> <p>本稿では、UR 都市機構が渋谷駅周辺エリアやうめきた1期地区といった、ターミナル駅周辺での事業で経験した事例を踏まえ、上記課題への対応方策として「工事中交通マネジメント」の重要性について論じるとともに、人流データの活用等、今後のデジタル技術による効率的かつ効果的な交通対策の展開可能性についても触れる。</p>	